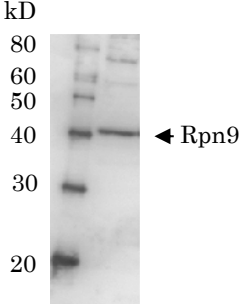


抗 Rpn9 (*S.cerevisiae*) 抗体, ウサギポリクローナル

商品コード	62-207
容量	100 µl
保存	-20 °C
濃度	N/A
バッファー	PBS- with 1 mg/ml BSA, 0.09% sodium azide, 50% glycerol
純度	ウサギ抗血清から GST-Sepharose カラムを通して抗 GST 抗体を除き proteinA で精製した
抗原	大腸菌に発現させた GST 融合全長 Rpn9 タンパク質 (文献 2)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	<i>S. cerevisiae</i> Rpn9.他の種については試されていない。
アプリケーション	1) ウエスタンブロッティング (1/1,000~1/2,000 希釈) 2) 免疫沈降
背景	プロテアソームはユビキチンで修飾されたタンパク質を分解する酵素である。ユビキチン-プロテアソームによる分解システムは、傷害を受けたりミスフォールドしたタンパク質を除去するのみならず、細胞周期制御、免疫応答、シグナル伝達といった細胞内の様々な働きに関わっている (文献 1)。活性型の 26S プロテアソームはタンパク質分解実行ユニットである 20S プロテアソームの両端に、それを制御する 19S 複合体が会合した巨大な分子複合体である。19S 複合体はさらに base (基部) と lid (蓋部) に分けられる。 Rpn9 は lid の non-ATPase サブユニットのひとつで、26S プロテアソームの構築や安定化に重要な役割を果たしている。 Rpn9 破壊株は温度感受性を呈し、細胞周期やプロテアソームの構築に障害がある。
Data Link	SGD RPN9/YDR427W
画像	 図 1 <i>S. cerevisiae</i> 粗抽出液で、この抗体を用いたウエスタンブロッティングを行い、Rpn9 (46kD)を検出した。
文献	この抗体は文献 2 で作成された。 - Hershko A and Ciechanover A "THE UBIQUITIN SYSTEM." <i>Annu. Rev. Biochem.</i> 67, 425-479 (1998) PMID: 9759494 - Takeuchi J <i>et al</i> "Rpn9 is required for efficient assembly of the yeast 26S proteasome." <i>Mol Cell Biol</i> 19:6575-6584 (1999) PMID: 10490597
関連製品	#62-201 抗 Rpn3(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-203 抗 Rpn5(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-205 抗 Rpn7(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-209 抗 Rpn12(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-211 抗 Nob1(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-213 抗 Nas6/p28(<i>S.cerevisiae</i>)抗体 #62-215 抗 Tem1(<i>S.cerevisiae</i>)抗体
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	